

《いびがわの子》「夢をもって、共に生きる。」

<地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）>

子供会・PTA・青少年育成

学校運営協議会

公民館・家庭教育・生涯学習

自治会
地域団体

地域クラブ
スポーツ少年団

文化協会
保存協会

留守家庭
放課後デイ

フリースクール
適応指導教室

保育所・認定園
幼児園・幼稚園

県立高等学校
特別支援学校
専門学校・大学

資料館・博物館
図書館・道の駅

子ども相談セ
子ども家庭セ
児童養護施設 等

病院・診療所
警察署

「よりよく生きる力」に培う学校教育

- ◎ 知・徳・体の調和的な人間を育成し、変化の激しい社会を主体的に生きぬく。
- ◎ 一人の人間として自他を尊重し、様々な価値観をもった人たちと共によりよい社会をつくる。

<社会に開かれた教育課程>

- 実生活・実社会の課題解決に学ぶ「探究の時間」を通して生きて働く学力を育成
- 地域の教育資源を活かした「ふるさと学習」を通して郷土への誇りと愛着を涵養
- 様々な人たちとの交流に学ぶ「ふれあい活動」を通して寛容な心を醸成

授業 = 「個別最適な学び」 & 「協働的な学び」の展開

資質向上

だれひとり取り残さない覚悟

働きがい

教職員

【カリキュラム・マネジメント】 = 「教育課程」の改善・充実

- (1) 育成を目指す資質・能力に基づき、教科や学年の枠を超えて学びを組み立てる。
- (2) リソース（ひと・もの・こと）を効果的に組み合わせることで教育活動の質を高める。
- (3) 教育課程の編成・実施・評価を通じて、教育目標との関連を確認し、改善を図る。

【「認知能力」と「非認知能力（学びに向かう力・人間性等）」をバランスよく育成

- 数値化できる能力
・ 知識、読解力、計算力、記憶力 等、学習の基盤となる能力

×

- 特性、自己抑制力、意欲、自信、協調性、粘り強さ、好奇心等
・ 子どもの努力やプロセスを具体的に言葉で褒める。
・ 失敗を責めず、「どうすればよかった?」と一緒に考える。
・ 年齢に応じた小さな責任を任せる。

【いのちを大切にできる教育】◎共感的理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育成

- ・ 互いをかけがえのない存在として尊重できる、仲間との関係づくりに取り組む。
- ・ 限りある命、命の尊さ、命のつながり、生きる喜び等に気付くことができる体験活動を工夫改善する。
- ・ 児童生徒、保護者の悩みや不安に寄り添う教育相談に努め、必要に応じて関係機関と連携する。
- ・ いじめは「いつでも、どこでも、だれにでも、何度でも起こりうる」という認識のもと、組織的な早期対応に徹するとともに、いじめが起きにくい学校生活を児童生徒と共につくる。

【今日的な教育課題への対応】

- 将来への夢や希望を育むとともに、社会の一員として自立し、自分らしい生き方を実現するための力を身に付ける【キャリア教育】を推進する。
- 心身の健康状態や安全及び体力向上等への意識を高め、自ら考え、判断して行動する力を育む【健康教育】の充実を図る。
- 生成AIを含め、デジタル社会で生きて働く情報モラルに関する資質・能力を育成する【デジタルシチズンシップ教育】を推進する。

【危機管理体制の確立】

- 非常変災時等、様々な危機について全教職員が見識をもち、緊急時において、「命を守りきること」を最優先にした対応（救急、警察への通報、子相への連絡等）を躊躇なく行い、迅速な報告と情報共有により組織的な動きができる体制を確立する。
- いじめ・自殺、不登校等の未然防止と早期発見・早期対応に向けて、日頃から児童生徒の状況を共有し、事案発生時には組織で迅速かつ丁寧な対応が図れるようにする。